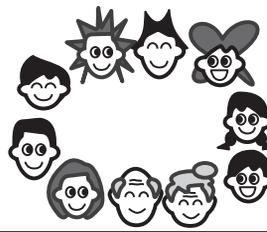


津谷歯科医院 口腔ケア新聞

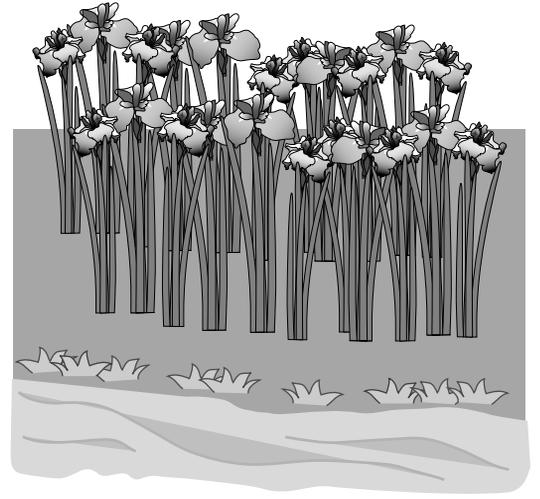
NPO法人
訪問歯科診療
を広める会
賛助会員



平成26年6月号
 発行人:津谷歯科医院
 院長:津谷良
 住所:岡山市中区海吉 1807-14
 紙面に関するお問い合わせは下記まで
 電話: 0120-779-418
 配信代行:訪問歯科診療を広める会

皆さん、こんにちは! いかがお過ごしですか?
 津谷歯科医院、院長の津谷良です。

先日厚労省から、特養の待機者が52.4万人という調査報告が発表されました。その中で入所の必要性が高い、要介護4・5の在宅待機者は8.7万人。今後の団塊世代への対応も考えれば、やはり在宅介護・在宅医療の推進が急務かと思えます。しかし在宅で介護を継続するためには、要介護度を維持(又は改善)しなければなりません。とてもハードルの高い課題ですが、それを可能にする効果的な方法の一つは、基礎疾患の維持管理をした上で、栄養状態を良好に保つことです。実は、そこには歯科がお役に立てる領域があります。そこで今月は『訪問歯科による栄養改善』についての情報をお届けしたいと思います。



栄養状態が改善すればADLも改善

要介護者の30~50%が低栄養であるという報告は多数あります。身体活動量の減少、多剤服薬、食生活環境(買物や食事の支度が不自由等)が低栄養の主な原因と考えられています。ご存知の通り、低栄養状態は認知症を発症・重症化したり、運動機能を低下させ、寝たきりを招き要介護度を悪化させる大きな要因です。さらに寝たきりとなった時に低栄養は床ずれの原因にもなります。反対に、低栄養状態を改善すると、46.7%にADLの改善が認められたという報告があります(厚労省「高齢者の栄養管理サービスに関する研究」)。栄養状態の改善は攻めの取り組みとも言えるかも知れません。

食べようとしても・・・

栄養状態を改善する具体的な方法は、十分な量のたんぱく質とエネルギーを食事で摂取することです。しかしそこでひとつ課題が浮かび上がります。低栄養状態の方の食事を観察すると、食べこぼしとむせが非常に多く認められます。これは、摂食(咀嚼)と嚥下に大きな問題があるからと言えます。

ある特養における調査では、お茶でむせることや食べこぼしがしばしばある方は、ない方と比較して低栄養であると報告されています。食べこぼしの原因は、歯が欠損している、麻痺がある、入れ歯が合っていない等、咀嚼に問題があります。むせについては、嚥下に何らかの問題があるからと言えます。つまり口腔機能に異常がある場合は、低栄養になるリスクが高いということです。

訪問歯科の必要な潜在患者

現在、訪問歯科を依頼するきっかけは、入れ歯に関するものが8割、歯がぐらぐらする・痛い等が1割、その他が1割です。しかし要介護となる原因の半数が脳血管障害によるものであることを考えますと、食べこぼし、むせによって食事が十分にとれていない低栄養状態の潜在患者さんは、多数いらっしゃるのではないかと思います。

現在、当院から在宅・施設・病院に訪問して無料歯科健診を実施しております。低栄養患者さんの頭在化のきっかけとして積極的にご利用下さい。

◆先月ご案内した通り無料健診を実施中です。お気軽にご利用下さい!◆

口腔ケア新聞の発行にあたって 

ここ数年、外来患者さんやそのご家族から訪問診療のお問い合わせやご依頼を受けるケースがとても増えてきました。小さなご病気されてしまったことがキッカケで、寝たきりになってしまわれたりして、「いつもお元気でいいですね」と話をしていたのに・・・そんなことが続いたので、これは本格的に訪問診療に取り組まなければいけないかなって、強く思うようになりました。

そこで取り組みの一環として、要介護者の歯と口に関する情報を地域の介護に携わっている方にお届けしようと考え、口腔ケア新聞を毎月1回発行しています。

津谷歯科医院

診療時間 9:00~12:30/14:00~18:30
 (土曜日は16:30まで)
 診療科目 歯科 小児歯科
 休診日 木曜・日曜・祝祭日
 院長 津谷 良
 岡山市中区海吉 1807-14